

保育計画成果報告書

法人名等	社会福祉法人同仁福祉会
施設名	幼保連携型認定こども園 わくわくほいくえん
報告者（役職）	読谷山 咲子（園長）
住所・連絡先	沖縄県うるま市字江洲 1380
	☎ 098-923-0980
	E-mail wakuwaku@doujin-hukushikai.or.jp

○タイトル（保育計画）

あふれる わくわくの気持ちを大切に！
～のびのび動いて、すくすくと成長する心と体～

○主な助成備品

跳び箱、ロイター板、カラーマット、平均台、鉄棒、等

1. 保育計画策定の目的

当法人は、子ども達が自分らしく素直な気持ちでのびのびと過ごし、健康ですくすく育つために、日々、わくわくする環境づくりに全力を尽くしております。

元気いっぱい子ども達が、体をおもいきり動かし、マットや跳び箱、鉄棒といった運動の発達を助ける器具を活用することにより、日々の運動不足の解消、及び、運動を通して「できる」経験を積み積極的にチャレンジできる精神、ルールを守った運動への取り組みやお友達とのコミュニケーションを図り、子ども達の健康な心と体作りを目的としています。

2. 具体的な実施内容

①とび箱、ロイター板（体を支える力を育てる・物との距離を測る力を育てる）

体を支える力、物との距離を測る力を育てるために、午前中の活動に跳び箱を取り入れ、運動を行いました。

跳び箱は手で跳び箱を押して飛び越えるため、自分の体を支える力が身につきます。手で体を支える力は日常生活やとっさの動きの時に有効に働き、また、ロイター板は助走の距離や歩数などを考えて挑むため、自然と物との距離を測る能力が鍛えられ、距離感を育むことで事故を未然にふせぎ、危険を遠ざける力の育成にとりくみました。

<写真>



②マット、平均台・鉄棒（全身のバランス感覚・柔軟性・握力・腕力を育てる）

全身のバランス感覚・柔軟性・握力・腕力を育てるため、同じく午前中の活動にマット運動や鉄棒などを取り入れ、運動を行いました。

マット、平均台、鉄棒は両手両足、背中やお尻を使って体を支えたり押ししたりします。平衡感覚や逆さ感覚、遠心力・速度に対応した全身のバランス感覚の育成に取り組みました。

<写真2>



3. その成果と評価

これら運動を行ってきた結果、できないことも練習すればできるようになる、という感覚を体で覚え、何度も挑戦していくうちに「できた」という経験が増え、運動以外にも積極的にチャレンジする姿が見られるようになりました。

また、マットや跳び箱といった運動器具は1人ずつ取り組むため、順番に並んだりルールを守って運動に取り組むことでお友達とのコミュニケーションが円滑になり、その他の活動にもスムーズに取り組めるようになりました。

マットや跳び箱といった運動は普段の生活ではなかなか難しい動作をします。また鉄棒を使ってぶら下がるといった簡単な動きをするだけでも握力や腕の力が鍛えられ、背筋も伸びます。このような運動を続けることによって、保育中の転倒やケガといったトラブルも減少しました。

また、子ども達の運動量が増えたことで体力がつき食事量が増加し、園のもう一つの課題であった食事量の少なさの問題も改善傾向にあり、運動器具をとり入れたことによる効果は大いに発揮されていると思います。

4. 今後の課題と展望

これまでの成果をみると、運動器具による効果にはこれからも期待できますが、運動器具を使った運動を指導できる先生が少ないということに課題があり、今後は、指導側の講習などへの参加機会を増やし、運動器具を使った効果を増加させ、子ども達へよりよい運動活動を提供していきたいと思います。

以上